

《担当者名》○石角 鈴華 [ishizumi-re@hoku-iryo-u.ac.jp]
 塚本 容子 [yokot88@hoku-iryo-u.ac.jp]
 松尾 淳司(医技) [matsuo@hoku-iryo-u.ac.jp]
 山崎 智拡(医技) [yamazakit@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

本講義では、プライマリ・ケアで多く遭遇する感染症（肺炎、尿路感染、皮膚感染症、性感染症など）に焦点を当て、その診断及び治療に関する実践的知識技術を学修する。また感染症予防（ワクチン以外）についても知見を深め、病院や施設などの感染拡大予防や患者への生活指導に生かす。感染症に罹患した人の人権について配慮する視点を基盤に、感染症診療について総合的に学修する。

【学修目標】

1. 感染症患者の人権とQOLの観点から感染症診療について検討できる。
2. 抗菌薬使用と多剤耐性微生物の関連について説明でき、適切な抗菌薬を選択できる。
3. 感染症に罹患した患者の疫学的背景から症状・症候から検査、そして診断まで一連の流れについて事例を通して検討できる。
4. 患者の背景から感染のリスクを推定し、治療につなぐことができる。
5. 感染症診断のための検査を理解し、臨床で活用できるグラム染色ができる。
6. 感染症治療のための適切な抗菌薬について、事例を通じて選択できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	プライマリ・ケアにおける感染症診療	【対面】 ・感染症と患者の人権 ・医療関連感染と患者のQOL ・高齢化社会と易感染性 ・多剤耐性菌を取り巻く課題 ・感染症予防・治療におけるNPの役割	石角 塚本
2	感染症を持つ患者のアセスメント	【Web-Learning】 指定された動画を視聴し、与えられた課題を行う。 ・感染症の起因微生物 ・感染症の検査 ・感染症診療の流れ 動画視聴：60分 課題レポート：30分	石角
3 4	肺炎患者のアセスメント：事例検討	【対面】 事例を基に、以下の内容を演習形式で行う。 ・市中肺炎と医療関連感染の起因微生物 ・患者背景と肺炎のリスク ・肺炎診断のための検査 ・他者への感染予防	石角 塚本
5 6	感染症のアセスメント：検査	【対面】 起因微生物を特定するための検査及び抗菌薬適正使用のための検査について演習する。 ・臨床現場で活用できるグラム染色 ・抗菌薬感受性検査	松尾 山崎 塚本 石角
7	感染症の薬物療法：抗菌薬	【Web-Learning】 指定された動画を視聴し、与えられた課題を行う。 ・抗菌薬治療の原理原則 ・各種抗菌薬の作用機序 ・抗菌薬とエンピリックセラピー ・抗菌薬と多剤耐性微生物 動画視聴：60分 課題レポート：30分	石角
8	感染症の薬物療法：抗菌薬	【Web-Learning】 指定された動画を視聴し、与えられた課題を行う。 ・抗菌薬と薬物動態・薬力学の考え方 ・抗菌薬の副作用 ・抗菌薬の副作用とTDM	石角

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		・アンチバイオグラム ・小児・高齢者と抗菌薬治療 動画視聴：60分 課題レポート：30分	
9	感染症の治療：尿路感染	【Web-Learning】 指定された動画を視聴し、与えられた課題を行う。 ・尿路感染の起因微生物 ・単純性と複雑性尿路感染 ・診断と抗菌薬治療 動画視聴：60分 課題レポート：30分	石角
10) 11	抗菌薬の適正使用：多剤耐性菌の予防とNPの役割	【演習】 事例を基に、以下の内容を演習形式で行う。 ・多剤耐性菌による治療への影響 ・多剤耐性菌発生予防のための抗菌薬適正使用 ・多剤耐性菌発生予防におけるNPの役割	笠原 敬（特別講師） 塚本 石角
12	性感染症（STI）の治療	【Web-Learning】 指定された動画を視聴し、与えられた課題を行う。 ・STIと患者の人権 ・STIの起因微生物 ・STIの診断 ・STIと抗菌薬治療 動画視聴：60分 課題レポート：30分	塚本 石角
13	肺炎患者の治療：事例検討	【対面】 事例を基に、以下の内容を演習形式で行う。 ・肺炎の診断と抗菌薬治療 ・高齢者と抗菌薬治療 ・誤嚥性肺炎予防 ・高齢者施設における肺炎とNPの役割	石角 塚本
14	尿路感染患者の治療：事例検討	【対面】 事例を基に、以下の内容を演習形式で行う。 ・尿路感染の診断と抗菌薬治療 ・高齢者と尿路感染 ・尿路感染予防	石角 塚本
15	皮膚感染症患者の治療：事例検討	【対面】 事例を基に、以下の内容を演習形式で行う。 ・皮膚感染症とQOL ・皮膚感染症の診断 ・皮膚感染症の抗菌薬治療 ・皮膚感染症予防	塚本 石角

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

筆記試験（100％）にて評価する。

【教科書】

笠原 敬．抗菌薬テキスト．MBTABXTEXT20230209.pdf <<https://mbtinfection.base.shop/items/65386933>>

【参考書】

青木 眞（2020）．レジデントのための感染症診療マニュアル 第4版

【学修の準備】

必要な文献・資料を熟読しておくこと

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。